

Sustainable Report No.137

# 容器包装リサイクルの行方

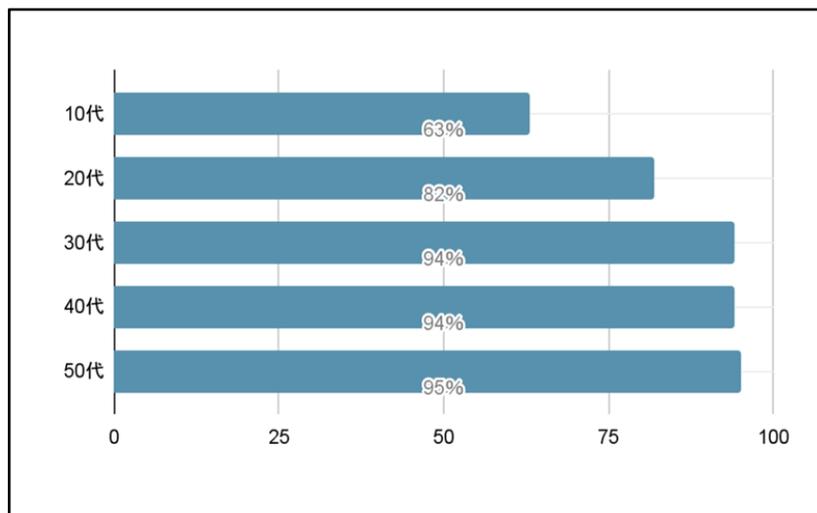


**Satisfactory**

## ■ 消費者の取組みと経過

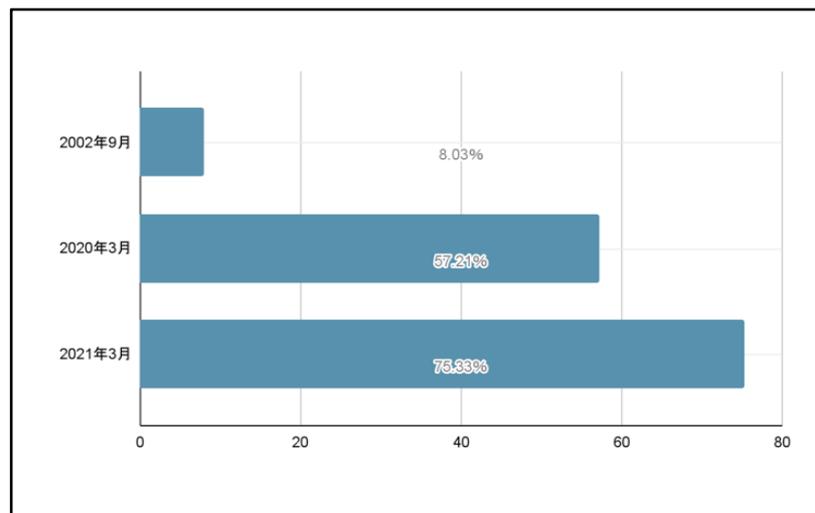
- 1995年一般廃棄物の最終処分場（埋立地）は、7～9年のうちにあふれてしまう状況だった
- 2022年現在、残余年数は僅かに伸びているが、残余容量は減り続けている
- 廃棄物の排出量を減らすために2020年7月からレジ袋が有料となり、エコバッグ利用者は全体で8割弱と使用率が高まっている

## ■ 年代別 エコバッグ持参の割合



出典：LINEリサーチ『レジ袋有料化後、エコバッグは使ってる?』を元に筆者作成

## ■ レジ袋辞退率



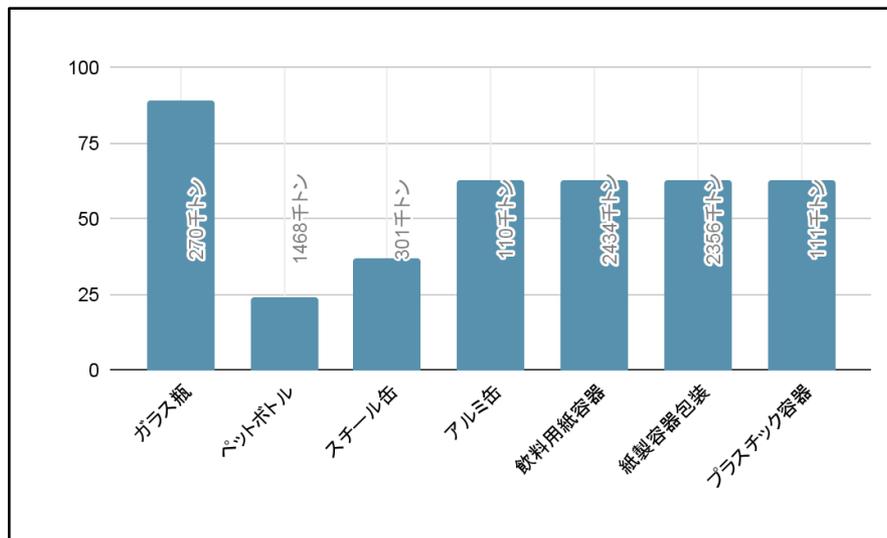
出典：日本チェーンストア協会「レジ袋辞退率の推移」を元に筆者作成

## 事業者によるReduce（軽量化）の取組み

## ■ 容器包装リサイクル制度とは

- 家庭から出るごみの約60%（容積比）である容器包装廃棄物（一般廃棄物）のリサイクル制度を構築することで、廃棄物の減量と資源の有効活用を図ることを目的とした制度
- 事業者は再商品化（リサイクル）の責務を負う
- リサイクル可能な包材への変更が企業に求められている

## ■ リデュース目標の達成状況



※2006年度からの累積削減量

出典：「容器包装 3 R 推進のための自主行動計画 2020」を元に筆者作成

## ■ 分別収集の対象となる容器包装

- ① ペットボトル
- ② プラスチック製容器包装
- ③ ガラスびん
- ④ 紙製容器包装
- ⑤ 紙パック
- ⑥ ダンボール
- ⑦ アルミ缶
- ⑧ スチール缶



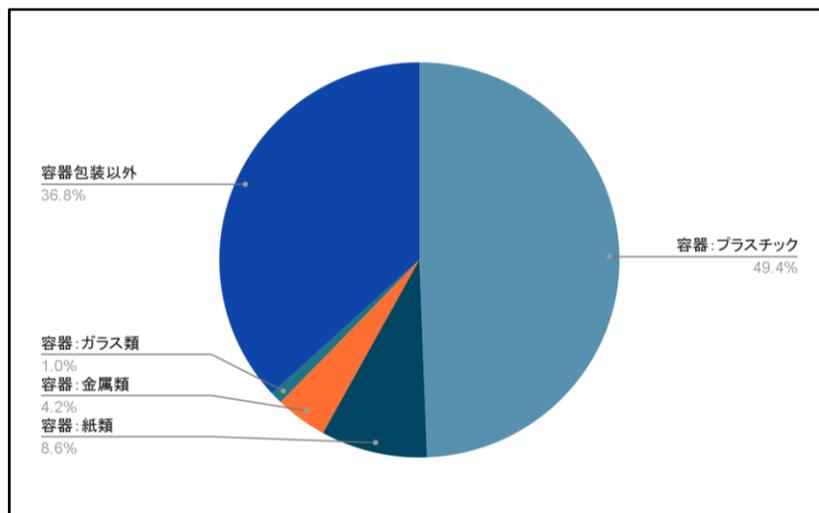
出典：公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会「容器包装リサイクル制度について」を元に筆者作成

## Reduceが浸透した消費者、次なる取組みとは？

### ■ 廃棄物の排出量を減らすために消費者ができること

- 家庭内から排出量を減らしていくために、私たちができることとは何か考える
- 排出抑制（ごみを出さない）、分別排出（細かく分ける）、再利用（リサイクル）の考え方はすでに浸透してきているが、実行に移せていないことがある
- 当たり前を継続していき、習慣に変えていくことで確実に変化している

### ■ 家庭ごみ中の容器包装廃棄物の割合



出典：環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査の概要（令和2年度）」を元に筆者作成

### ■ 分別排出するときの注意点

・ 洗う  
★ さっと水洗い

・ 取る  
★ ラベルやキャップは別に



・ つぶす  
★ 缶やペットボトルは潰して小さく



参照：日本容器包装リサイクル協会「消費者の皆様へ」

## 企業にできる廃棄物を減らす工夫は

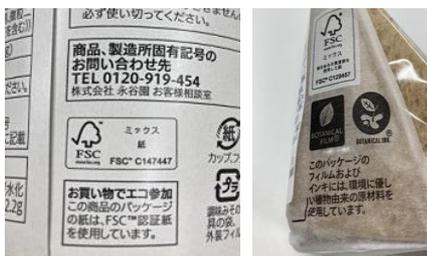
## ■企業の取り組み

- 株式会社セブン&アイHLDGS.では、2050年までに100%環境配慮型素材にすることを目標として掲げ、容器・包装に係る環境負荷の低減を推進している
- 紙製容器、再生トレイの導入や、生活家庭用品のパッケージにリサイクルした素材の一部を採用
- カルビーでは、ルビープログラムと題し、パッケージを折りたたむことでご家庭でのゴミの嵩を減らす取り組みを行っている

## ■プラスチック使用量削減の取組み



カップデリの蓋をトップシールに変え1個当たり約25%のプラスチック重量軽減



ライスインキを使用し年間約60トンのCO2排出量を削減

出典：株式会社セブン&アイHLDGS.「商品、原材料、エネルギーのムダのない利用」、写真：筆者撮影

## ■楽しみながらできる参加型取組み

カルビーの商品を食べたら、折ってたたもう！



折りたたむと現れるQRコードを読み取って、キャンペーンに参加できる仕組みになっている。参加条件を満たすと、様々な得点に応募ができる。

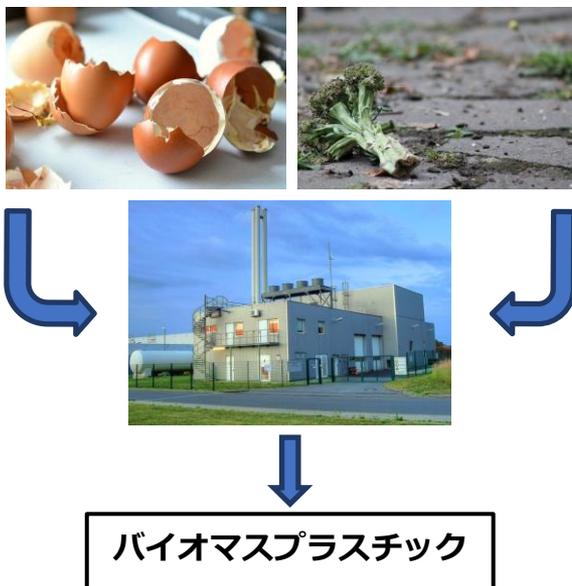
出典：カルビー「ルビープログラム」、写真：筆者撮影

## 廃棄物を減らすだけでは追いつかない現状

## ■ 廃棄物にならない、廃棄物にしない工夫

- 現状の企業活動でやむを得ず発生させてしまっている廃棄物は、焼却処分をしたとすると、燃焼によって多くのCO2を発生させる原因となっている
- 製品が作られる過程で廃棄物が出ることを前提にしない思考が広まっていくことが重要
- 企業が廃棄物にならない素材の開発や代替素材の採用を積極的に進める必要がある

## ■ 資源の有効活用イメージ



出店：ザ・バック株式会社「【リサイクル】廃棄物を活用したパッケージ製作とは」を元に筆者作成

## ■ プラスチックに変わる素材

紙



寒天



麦わら



でんぷん



画像：Pixabay

# 捨てればゴミ、分ければ資源

## ■ 参照・引用資料

- ・ LINEリサーチ,『レジ袋有料化後、エコバッグは使ってる?』,2020年9月26日 (<https://ampmedia.jp/2020/09/26/line-research-ecobag/>)
- ・ 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会,「容器包装リサイクル制度について」,2022年3月6日参照 (<https://www.jcpra.or.jp/Portals/0/resource/manufacture/text/seido-r03.pdf>)
- ・ 日本チェーンストア協会,「レジ袋辞退率の推移」,2022年3月6日 (<https://www.jcsa.gr.jp/topics/environment/approach.html>)
- ・ 3R推進団体連絡会,「容器包装3R推進のための自主行動計画2020」,2022年3月6日参照 ([http://3r-suishin.jp/PDF/2020Report/Followup\\_Report2020\\_all.pdf](http://3r-suishin.jp/PDF/2020Report/Followup_Report2020_all.pdf))
- ・ 株式会社セブン&アイ・ホールディングス,「環境に配慮した容器・包装の導入」,2022年3月6日参照 (<https://www.7andi.com/sustainability/theme/theme3/invention.html>)
- ・ カルビー株式会社,「ルビープログラム」,2022年3月7日参照 (<https://www.calbee.co.jp/lbeprogram/>)
- ・ ザ・バック株式会社,「廃棄物を活用したパッケージ製作とは」2021年10月8日 (<https://www.thepack.co.jp/blog/products/a56>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： [info@sfinter.com](mailto:info@sfinter.com)



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『[KIZUNA ESD](#)』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- ・ 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- ・ 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- ・ 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- ・ 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### — サステナブルレポートとは? —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で  
毎週更新中